

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		決勝															
日時	平成30年3月25日 (日)	12:10 ~															
会場	白石区体育館Aコート																
結果	●		○														
	石狩A 2年生	<table border="0"> <tr><td>12</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>9</td></tr> <tr><td>5</td><td>—</td><td>18</td></tr> <tr><td>8</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	12	—	18	18	—	9	5	—	18	8	—	8		OT	
12	—	18															
18	—	9															
5	—	18															
8	—	8															
	OT																
審判	主審 工藤 由佳		副審 前東 慶祐・櫻庭 康祐														

第36回北海道ジュニアオールスターバスケットボール大会



【ボックススコア】

石狩A		2年生						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	高津 真生	×	3	1			3	3
5	高橋 采那	/	0				3	2
6	村田 樹莉	/	4		2		2	
7	金嶽 亜美	/	6		3		3	
8	沼田 雅	×	4		2			1
9	柴田 莉那	/	2		1		1	
10	福島 結	/	4		2		4	
11	豊口 帆香	×	0				2	2
12	小松 萌	/	0					1
13	吉田 早希	×	12		6		1	1
14	穂刈 梨央	/	1			1		
15	三橋 志穂	/	0					
16	細田 愛瑠	×	0					1
17	藤ヶ森 響	/	7		1	5	2	1
18	澤田 美瑛	/	0				2	
HC	二口 義美							
合計			43	1	17	6	23	12

北見		2年生						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	米田 陽菜乃	/	0					
5	鈴木 菜々胡	/	0					
6	西尾 恵	×	0				4	2
7	平下 結夏	/	10		5		8	3
8	奥山 希美	×	6		3		1	1
9	冨塚 優七	/	2		1			
10	土橋 ななみ	×	9	3			5	
11	石井 里菜	/	15	1	4	4	1	
12	長瀬 楽	/	0					1
13	志賀 朱里	×	3		1	1	1	2
14	和田 妃菜乃	/	0					1
15	佐藤 彩乃	/	0					
16	國村 彩歌	/	0					4
17	中川 美晴	×	6		3		2	3
18	榊原 愛梨	/	2		1			
HC	大浦 幸一							
合計			53	4	18	5	22	17

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【選評】

第1ピリオド 石狩A4,8,11,13,16 北見6,8,10,13,17でスタート。開始早々石狩#13のドライブで先制するも、北見の#8,17の連続ゴール、さらに#10が思い切りよく3Pを2連続で沈め、開始3分で2-10とリードを奪う。石狩Aはタイムアウト。石狩Aはその後随所で小さなミスが目立ち波に乗れない。石狩のディフェンスに北見もミスが出て、お互いに得点を重ねながら12-18で北見6点リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド 石狩A5,7,10,13,17 北見7,9,11,12,14でスタート。開始直後石狩Aが#7,17,10の3連続ゴールで一気に同点。さらに積極的に攻める石狩は#17がフリースローを沈め逆転に成功。北見はオフェンスの足が止まり、ミスから速攻を出され、21-18と石狩Aに3点リードを許したところでタイムアウト。タイムアウト明けに石狩Aはオールコートでディフェンスを強め、さらに得点して勢いに乗り、北見はファウルが増える。しかしそこから石狩はボールは奪うものの得点できない。両チーム無得点の時間が3分以上続く重い展開。残り2分半、北見#11の3Pが入り、北見はようやくこのピリオド初得点。そこから試合が再び動き出し、お互いに得点を重ね30-27、石狩A3点リードで前半終了。

第3ピリオド 石狩A4,5,8,11,17 北見6,7,8,10,13でスタート。北見#10がこの日3本目となる3Pで同点とすると石狩A#4も3Pを入れ返す。残り4分石狩Aのミスを書いて北見#7が前を走り速攻で逆転。さらに#7がリバウンドシュートも決め、北見3点リードとなったところで石狩Aはタイムアウト。タイムアウト後、北見の速攻がさらに決まり始める。ディフェンスで石狩のミスを誘い、残り2分で一気に石狩Aを突き放す。35-45と点差を10点とし北見リードで最終ピリオドへ。

第4ピリオド 石狩A4,5,8,10,13 北見6,7,10,11,13。点差を縮めたい石狩はプレスを強めるも、なかなかボールは奪えない。北見もイージーシュートを落とし、10点差のまま2分が経過。#7のゴール下が決まり、そこから北見が連続ゴールで35-49と差を広げる。石狩は残り5分でタイムアウト。流れは変わらず北見は#7がリバウンドで存在感を示し、安定した試合運び。石狩はプレスも効かず攻め手なく、苦しい展開。終盤石狩が意地を見せ点差を詰めたが、そのまま北見が逃げ切り、43-53で北見が念願の初優勝を果たした。